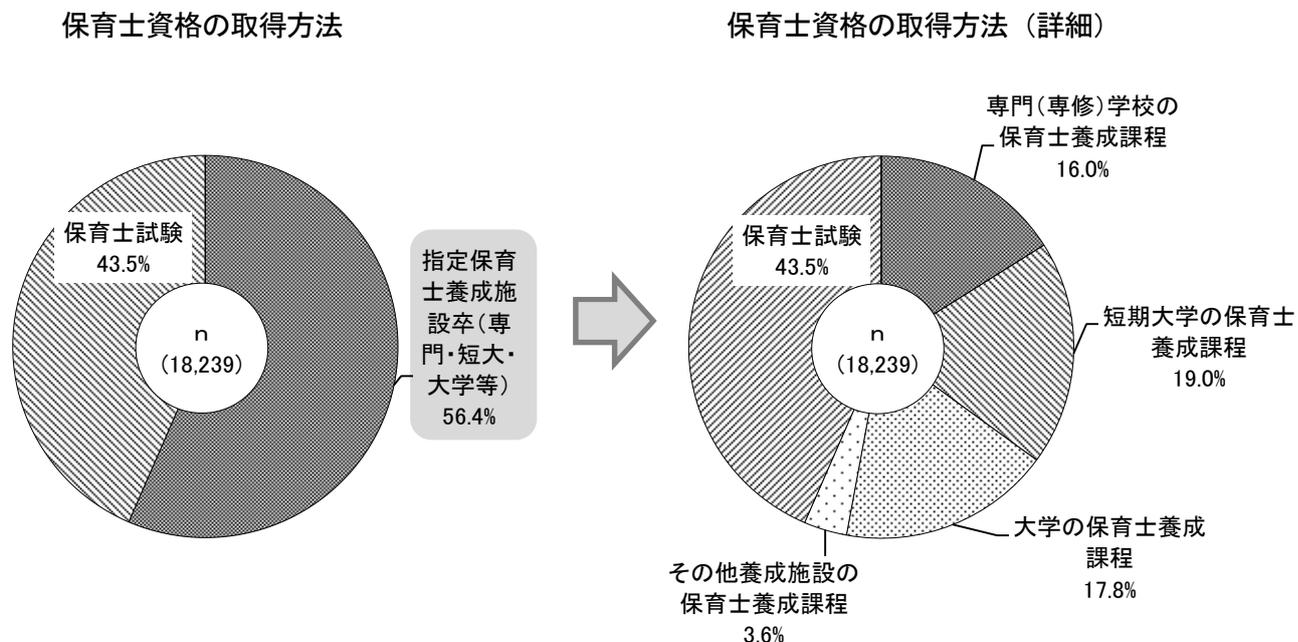


第Ⅱ章 調査結果の概要

1. 保育士有資格者全体の実態

(1) 保育士資格の取得方法

調査回答者のうち、指定保育士養成施設（以下「養成施設」という。）での資格取得者は5割台半ば、保育士試験での資格取得者は4割台半ばとなっている。

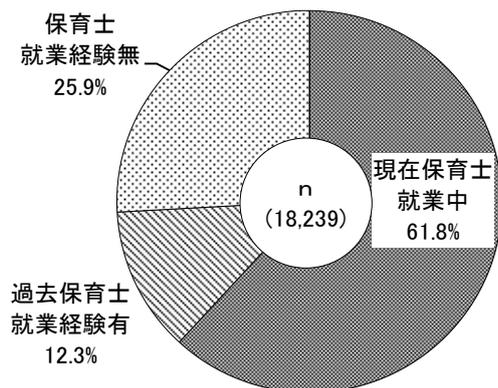


(2) 現在の保育士としての就業状況

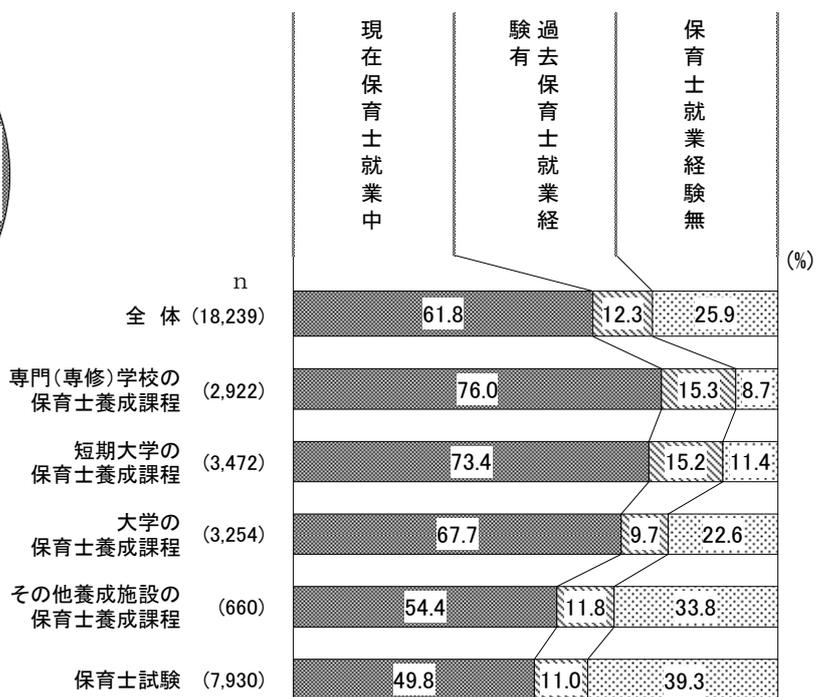
調査回答者のうち、現在保育士として就業中である者は6割強であった。

現在の就業状況を資格取得方法別にみると、専門（専修）学校の保育士養成課程卒業者は76.0%、短期大学の保育士養成課程卒業者は73.4%、大学の保育士養成課程卒業者は67.7%、その他養成施設の保育士養成課程卒業者は54.4%、保育士試験合格者は49.8%の割合で現在保育士として就業中という結果となった。

現在の保育士としての就業状況



現在の保育士としての就業状況（資格取得方法別）

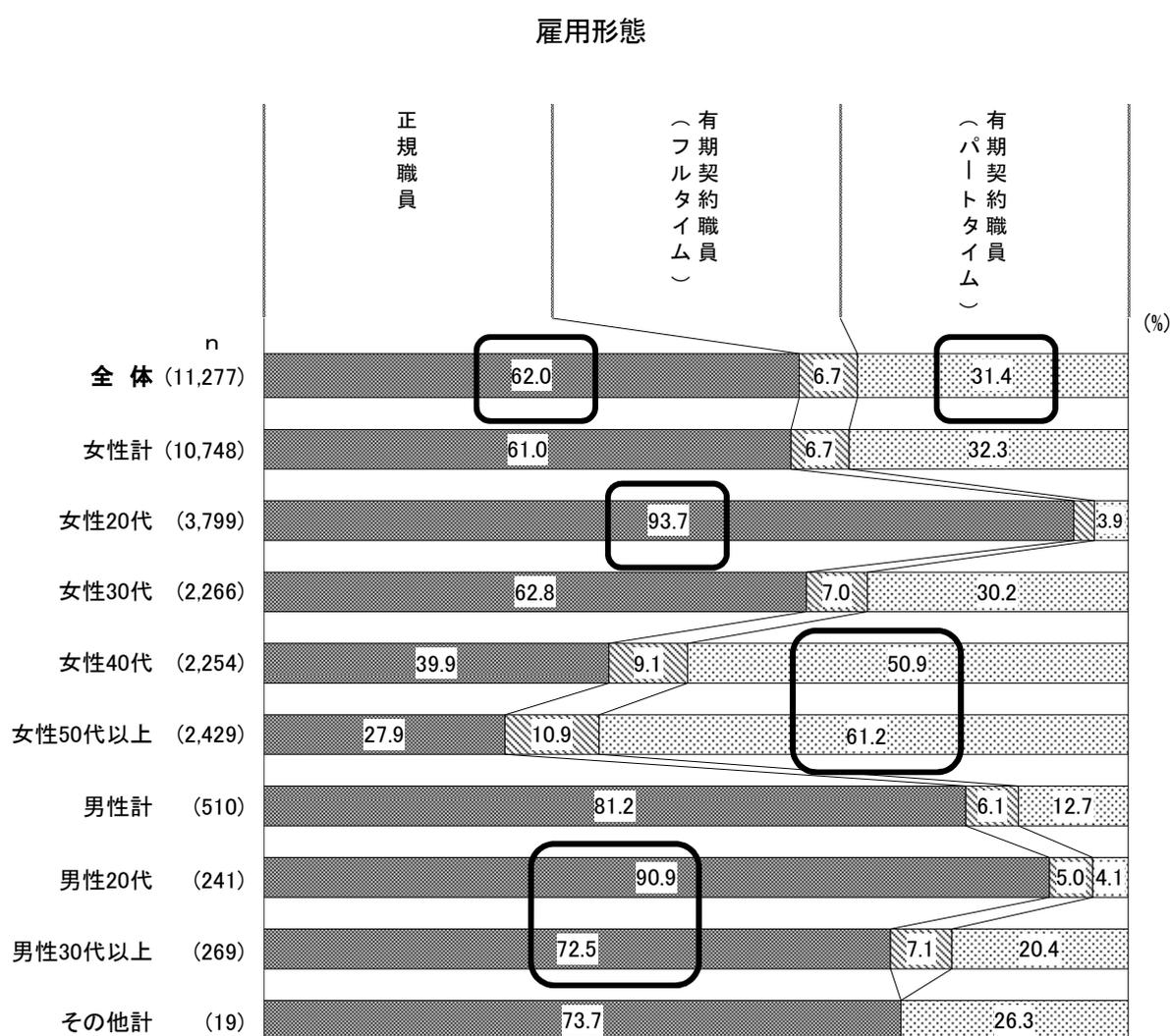


2. 現在保育士就業中の者の実態

現在保育士として働いている者の雇用形態をみると、6割強（62.0%）が「正規職員」、3割強（31.4%）が「有期契約職員（パートタイム）（以下「パートタイム」という。）」であった。

女性では、正規職員は20代が9割台半ばであるが、40代以上になると半数以上がパートである。また、男性の20代でも正規職員が9割であるが、30代以上では7割強にとどまっている。

「有期契約社員（フルタイム）（以下「フルタイム」という。）」は女性50代以上で唯一1割を超えている。

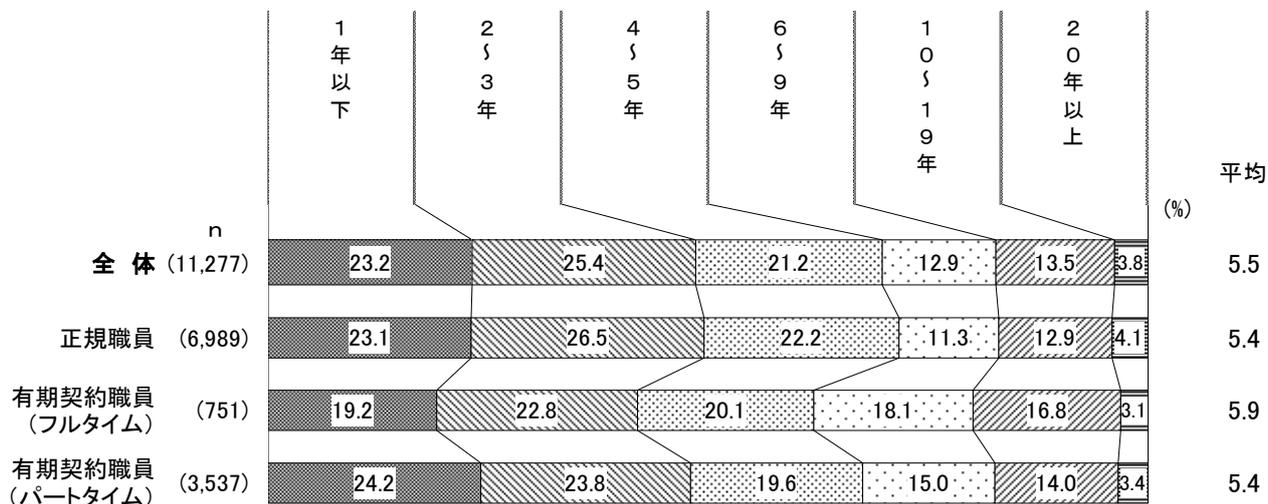


第Ⅱ章 調査結果の概要

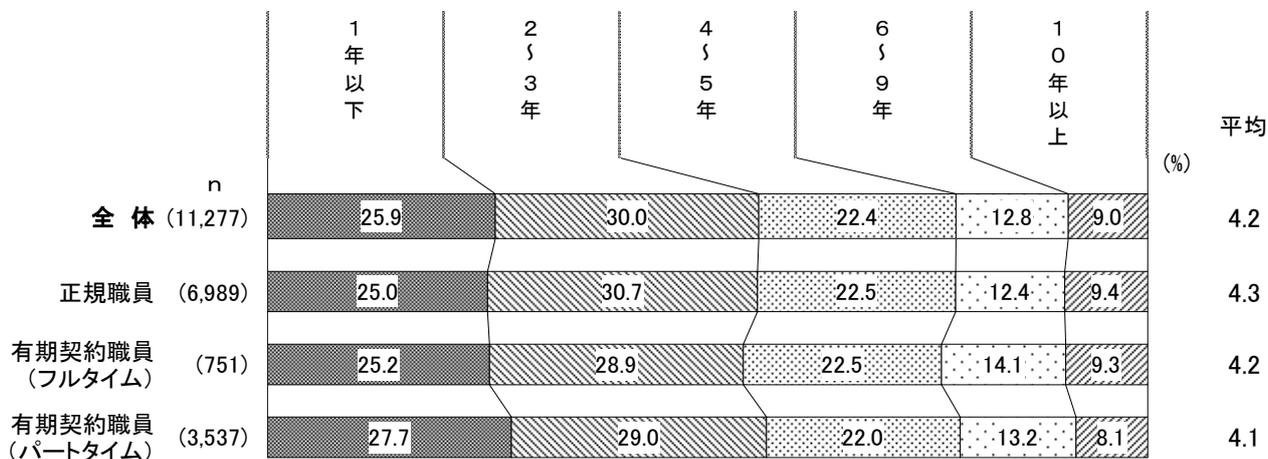
また、保育士通算就業年数は全体平均5.5年で、正規職員よりもフルタイムの方が数か月程度長くなっている。

なお、1箇所最長就業年数では、全体平均で4.2年となっており、雇用形態別による差は少ない。

保育士就業年数（通算）

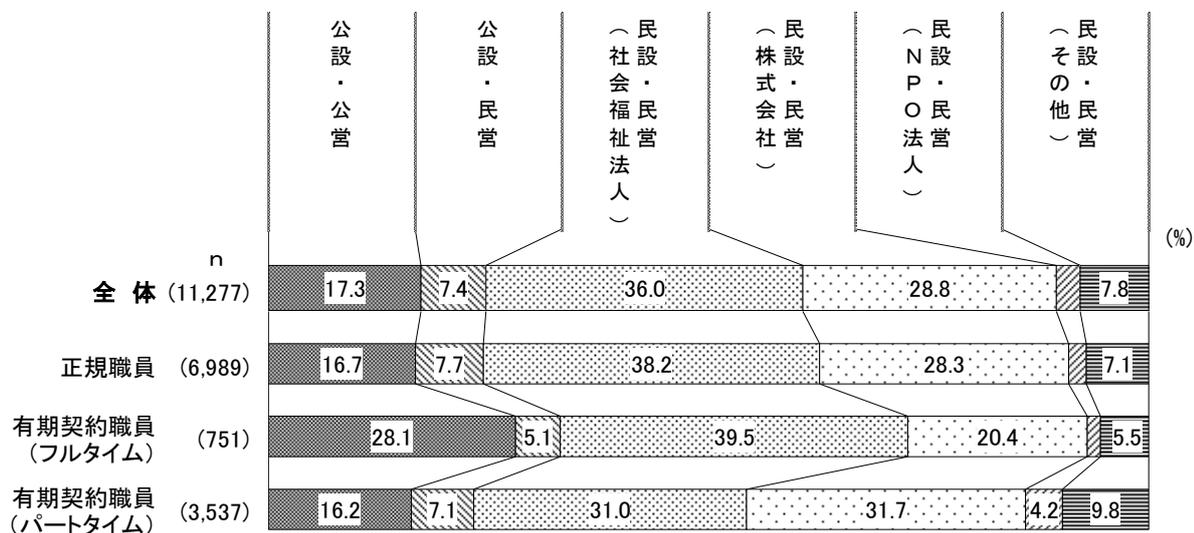


保育士就業年数（1箇所最長）



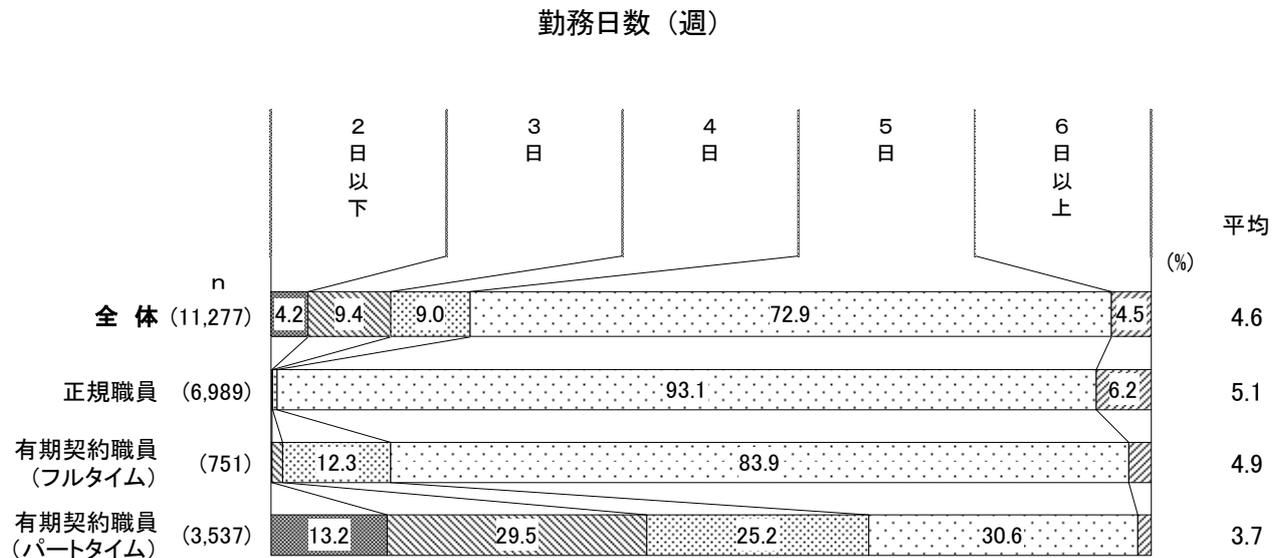
雇用形態別の運営主体をみると、正規職員及びフルタイムでは「民設・民営（社会福祉法人）」で働く者の割合が高い。また、フルタイムでは「公設・公営」、パートタイムでは「民設・民営（株式会社）」が他の雇用形態より割合が高い。

運営主体（雇用形態別）

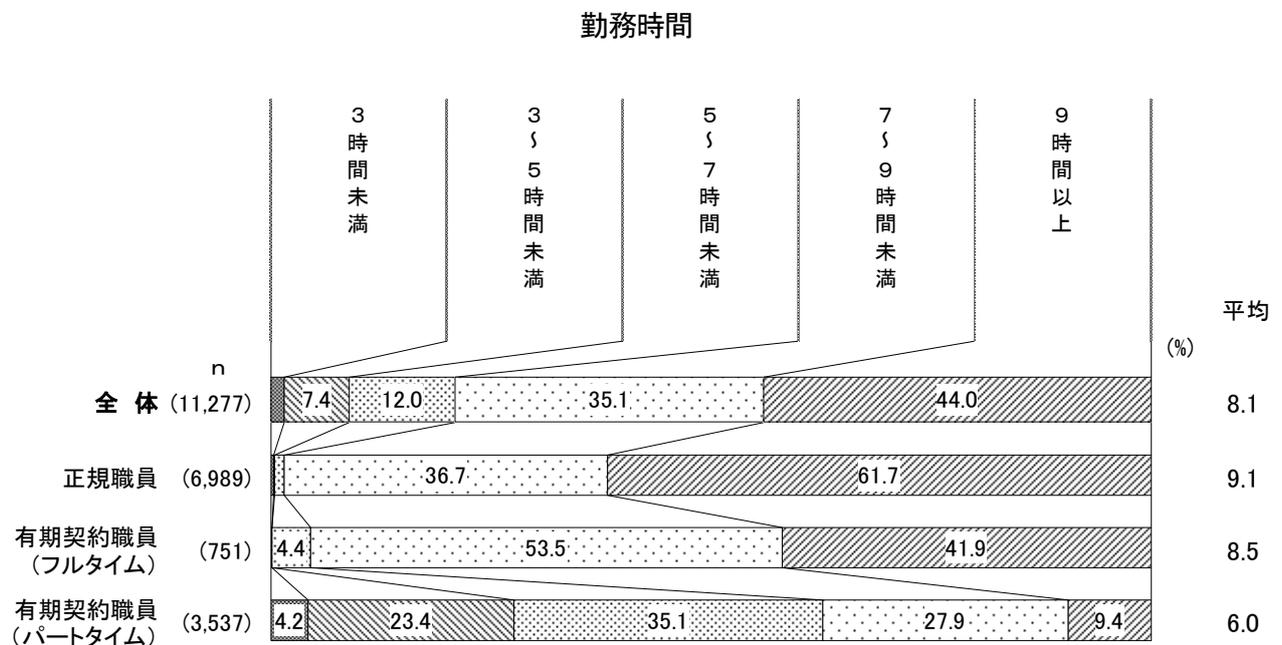


第Ⅱ章 調査結果の概要

勤務実態等における勤務日数では、全体平均で4.6日となっており、正規職員、フルタイムとも勤務日数「5日」が8割以上となっている。



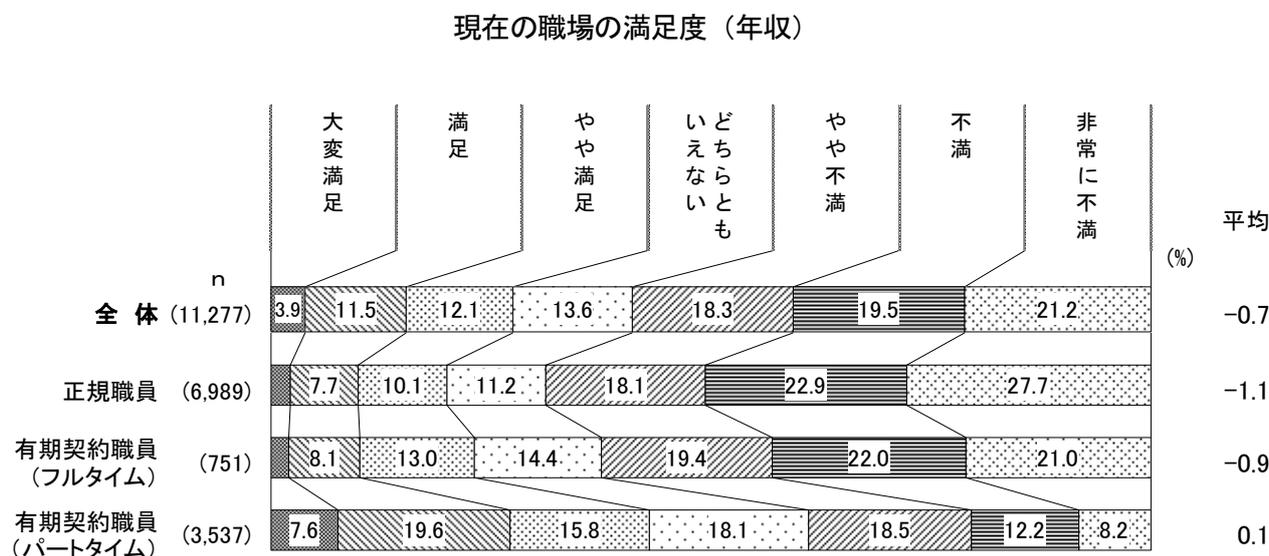
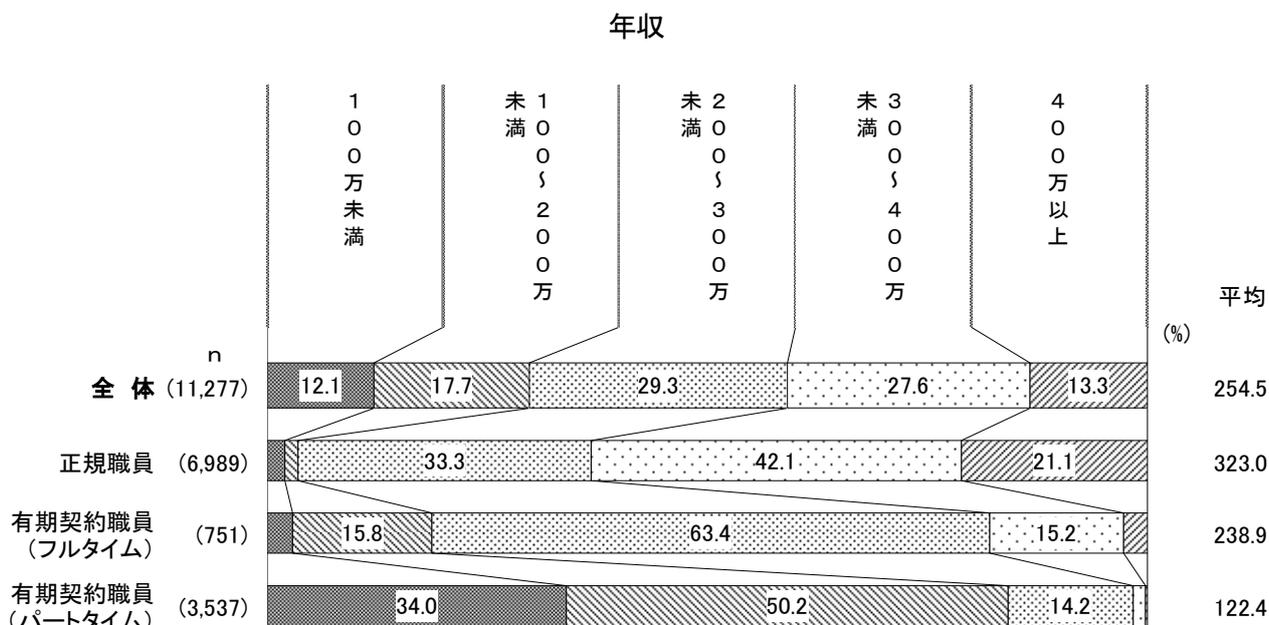
また、勤務時間は全体平均8.1時間で、正規職員では「9時間以上」、フルタイムでは「7～9時間未満」が半数以上となっている。



現在の職場の平均年収は、254.5万円である。正規職員の平均年収は323.0万円、フルタイムは238.9万円、パートタイムは122.4万円となっている。

給与に対する満足度は、パートタイムの方が、正規職員やフルタイムに比べて高い。

※ただし、本調査は直近5年間の保育士登録者（書換え等含む）が対象のため、保育士登録者全体の年収よりも低くなっていることが予想される。



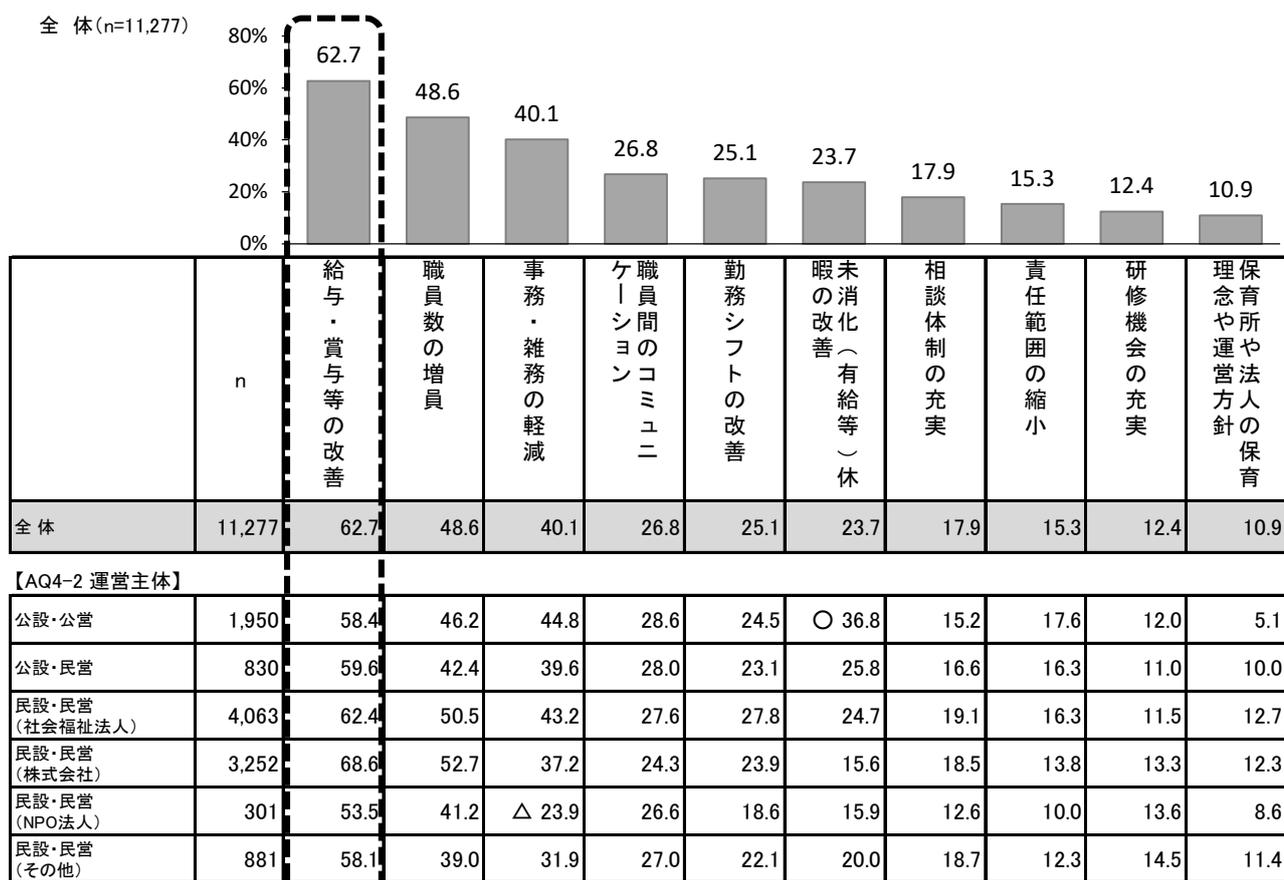
※平均の意味はP51を参照

第Ⅱ章 調査結果の概要

現在の職場で改善を希望する項目は、「給与・賞与等の改善」を希望する割合が最も高く、特に民設・民営（株式会社）でその傾向が強い。

また、民設・民営の社会福祉法人及び株式会社では「職員数の増員」を希望する割合も他の運営主体と比べて高くなっている。公設・公営では「未消化休暇の改善」を希望する割合が高くなっている。

現在の職場で改善を希望する項目（複数回答／上位10項目）

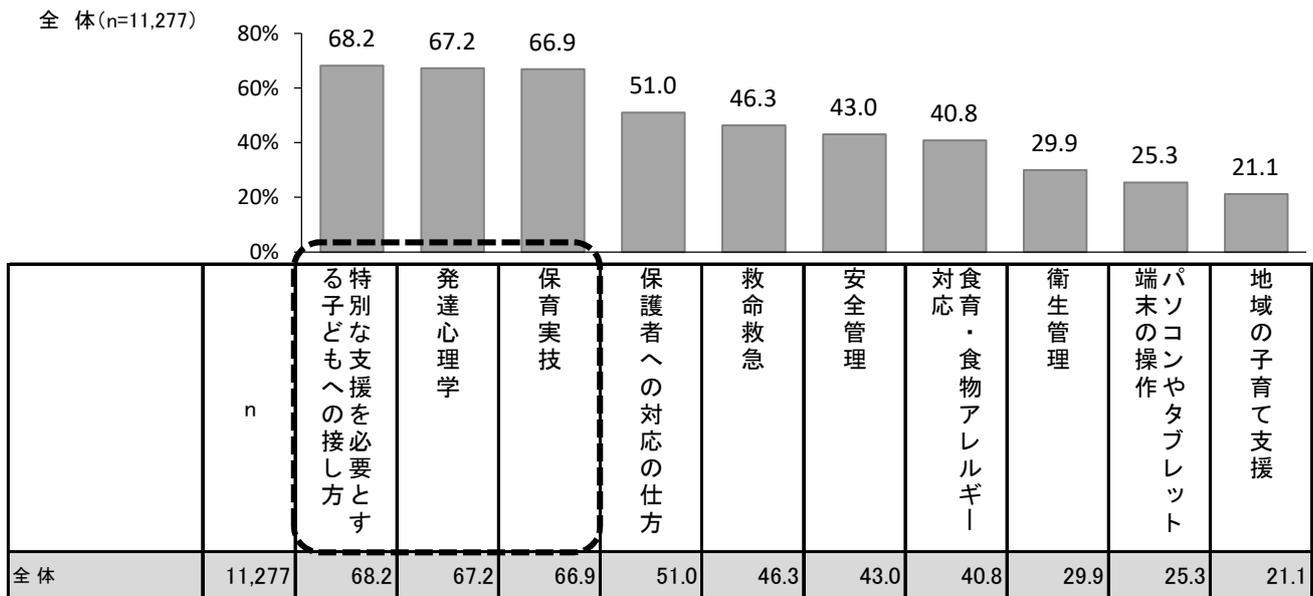


※その他項目の結果はP66

現在保育士として働いている者が、就業継続にあたり習得を希望する知識・技術は、「特別な支援を必要とする子どもへの接し方」、「発達心理学」、「保育実技」の割合が高い。

雇用形態別でもこの3項目の割合が高くなっているが、正規職員では「保護者への対応の仕方」、「安全管理」が他の雇用形態に比べて高くなっている。

習得を希望する知識・技術（複数回答／上位10項目）



【AQ4-4 雇用形態】

雇用形態	n	特別な支援を必要とする子どもへの接し方	発達心理学	保育実技	保護者への対応の仕方	救命救急	安全管理	食育・食物アレルギー対応	衛生管理	端末の操作やタブレット	地域の子育て支援
正規職員	6,989	67.6	66.9	72.6	59.8	44.6	45.1	43.6	30.1	25.4	23.0
有期契約職員(フルタイム)	751	74.6	71.9	61.3	42.9	46.6	38.9	42.7	31.3	31.6	18.6
有期契約職員(パートタイム)	3,537	68.0	66.7	△ 56.8	△ 35.1	49.6	39.6	34.9	29.2	23.7	17.6

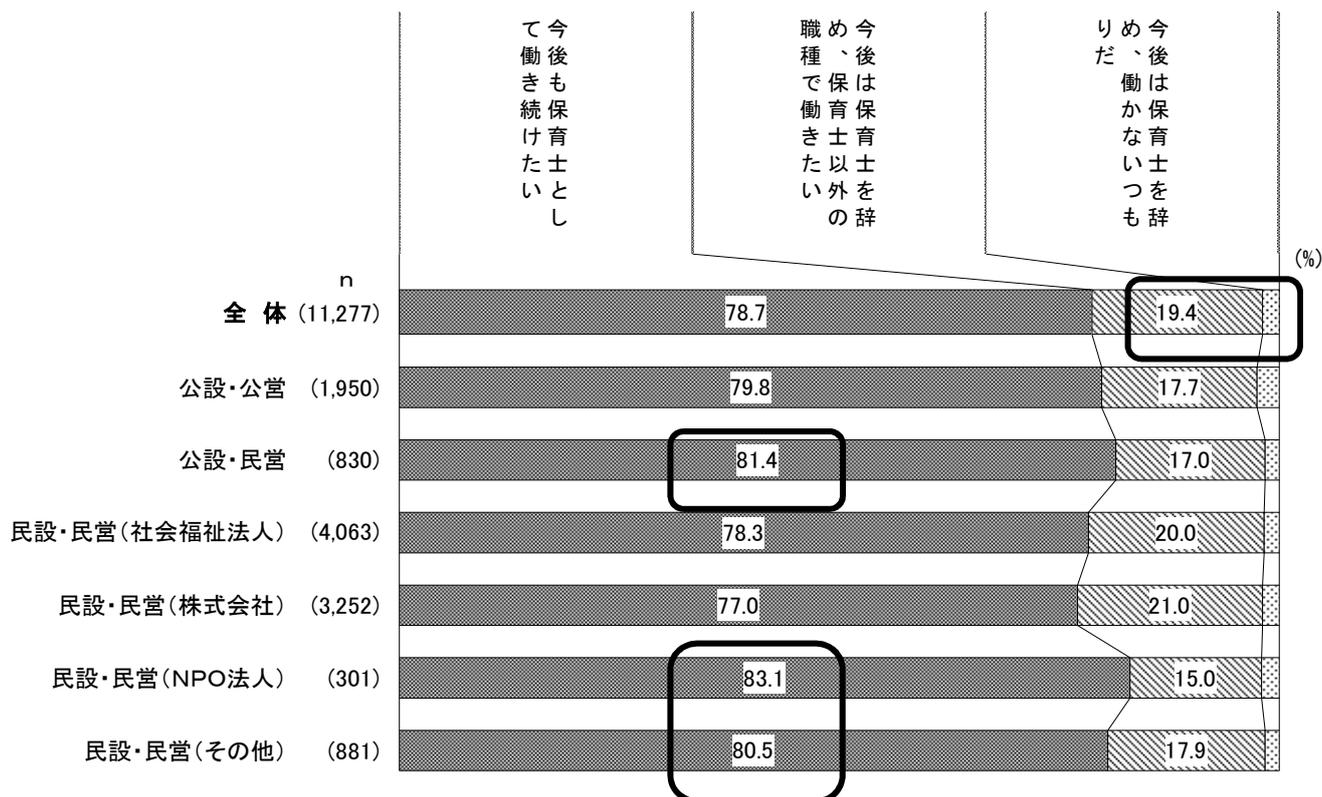
※その他項目の結果はP69

第Ⅱ章 調査結果の概要

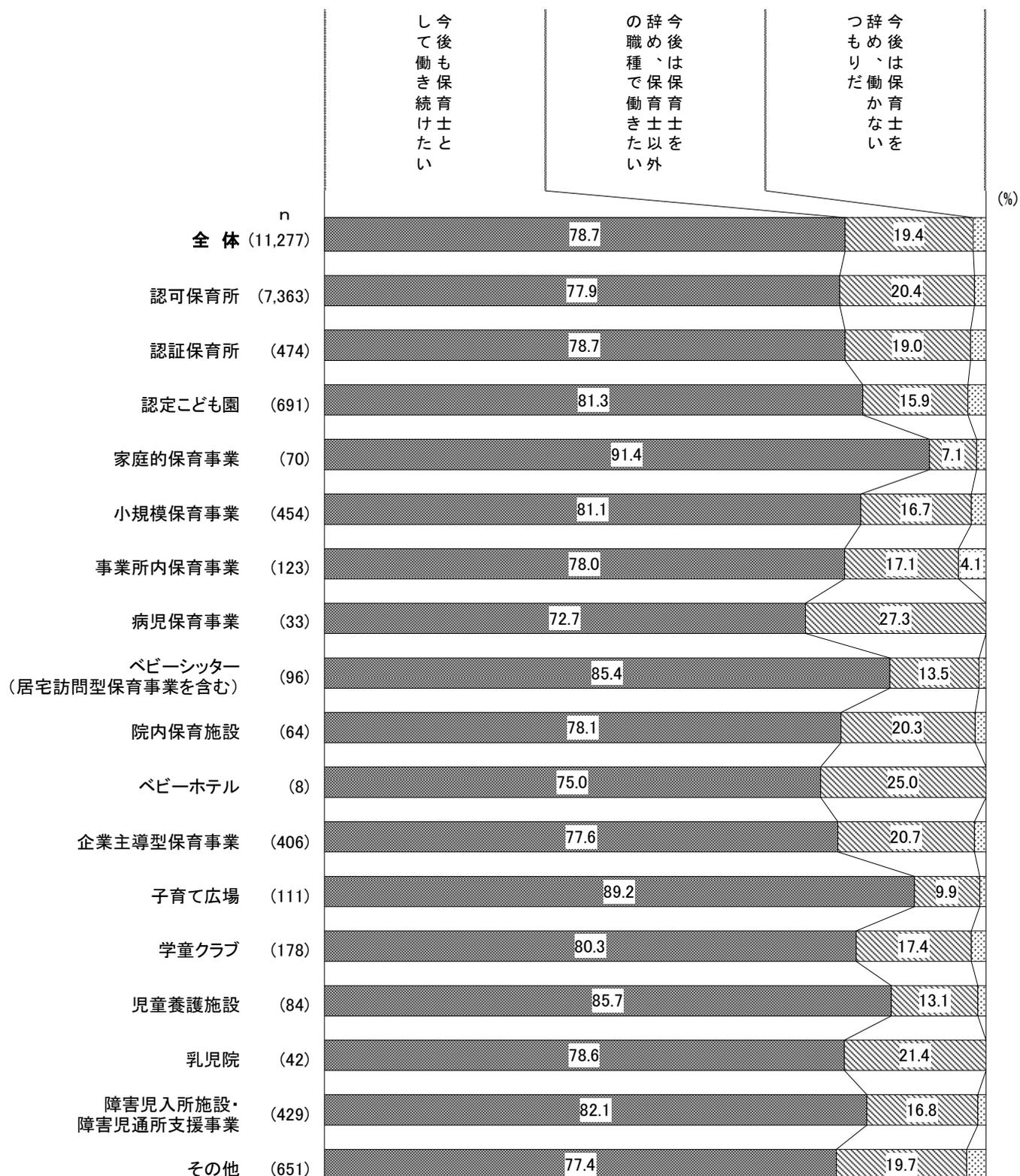
現在保育士として働いている者のうち、離職を考えている者の割合は、2割強（「今後は保育士を辞め、保育士以外の職種で働きたい」：19.4%、「今後は保育士を辞め、働かないつもりだ」：1.9%）となっている。

運営主体別にみると、就業継続意向はいずれも7割以上を示しているが、うち「民設・民営（NPO法人）」、「公設・民営」、「民設・民営（その他）」では8割台となっている。

保育士就業継続の意向（運営主体別）



保育士就業継続の意向（施設類型別）



第Ⅱ章 調査結果の概要

現在保育士として働いている者のうち、「今後は保育士を辞め、保育士以外の職種で働きたい」及び「今後は保育士を辞め、働かないつもりだ」と退職意向を示している者の理由は、「給料が安い」、「仕事量が多い」が多く挙げられており、特に正規職員とフルタイムでその傾向が強い。

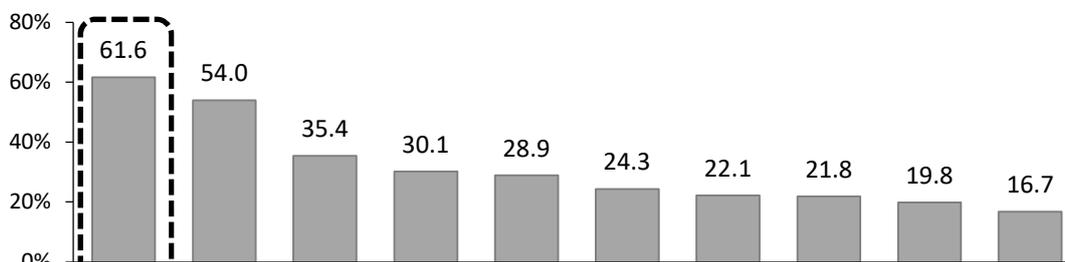
保育士就業継続の意向と現在の職場で改善を希望する項目（複数回答）

(%)

	n	給与・賞与等の改善	職員数の増員	事務・雑務の軽減	職員間のコミュニケーション	勤務シフトの改善	未消化（有給等）休暇の改善	相談体制の充実	責任範囲の縮小	研修機会の充実	理念や運営方針	保育所や法人の保育	雇用の安定化（正規職員登用）	評価制度の見直し	権限範囲の拡大	その他	特になし
全体	11,277	62.7	48.6	40.1	26.8	25.1	23.7	17.9	15.3	12.4	10.9	10.6	10.4	4.5	9.3	8.2	
今後も保育士として働き続けたい	8,877	59.6	46.0	36.7	25.6	22.1	21.7	16.7	12.4	12.9	9.8	10.1	9.0	4.2	8.7	9.5	
今後は保育士を辞め、保育士以外の職種で働きたい	2,186	75.3	59.2	53.6	30.9	36.0	30.7	22.7	26.3	10.4	14.4	12.6	15.6	6.2	11.9	2.7	
今後は保育士を辞め、働かないつもりだ	213	63.4	50.7	43.7	34.3	35.7	32.4	16.0	26.3	8.9	16.9	11.7	13.6	2.8	8.9	8.0	

保育士退職意向の理由（複数回答／上位10項目）

全体(n=2,399)



	n	給料が安い	仕事量が多い	労働時間が長い	職場の人間関係	他業種への興味	職業適性に対する不安	保護者対応の大変さ	健康上の理由（体力含む）	子育て・家事	自身の昇格等のキャリアアップが見通せない
全体	2,399	61.6	54.0	35.4	30.1	28.9	24.3	22.1	21.8	19.8	16.7

【AQ4-4 雇用形態】

正規職員	1,742	66.5	62.7	44.5	31.8	29.6	28.0	26.6	19.5	21.8	16.9
有期契約職員（フルタイム）	148	60.8	△ 41.9	△ 23.6	29.1	22.3	23.0	14.9	23.6	13.5	18.9
有期契約職員（パートタイム）	509	△ 44.8	△ 27.7	△ 7.7	24.4	28.3	△ 11.8	△ 8.6	29.5	14.7	15.3

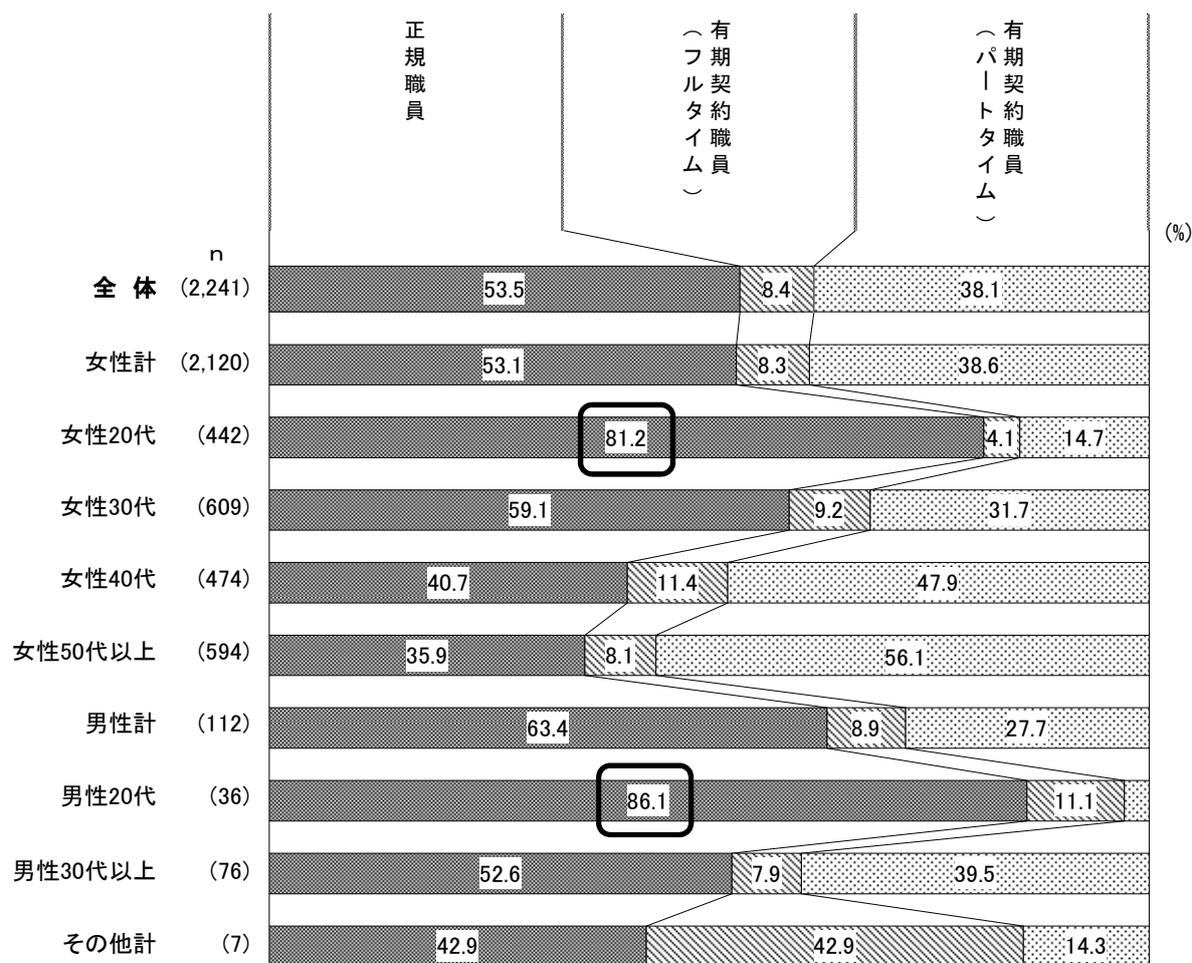
※その他項目の結果はP94

3. 過去に保育士就業経験がある者の実態

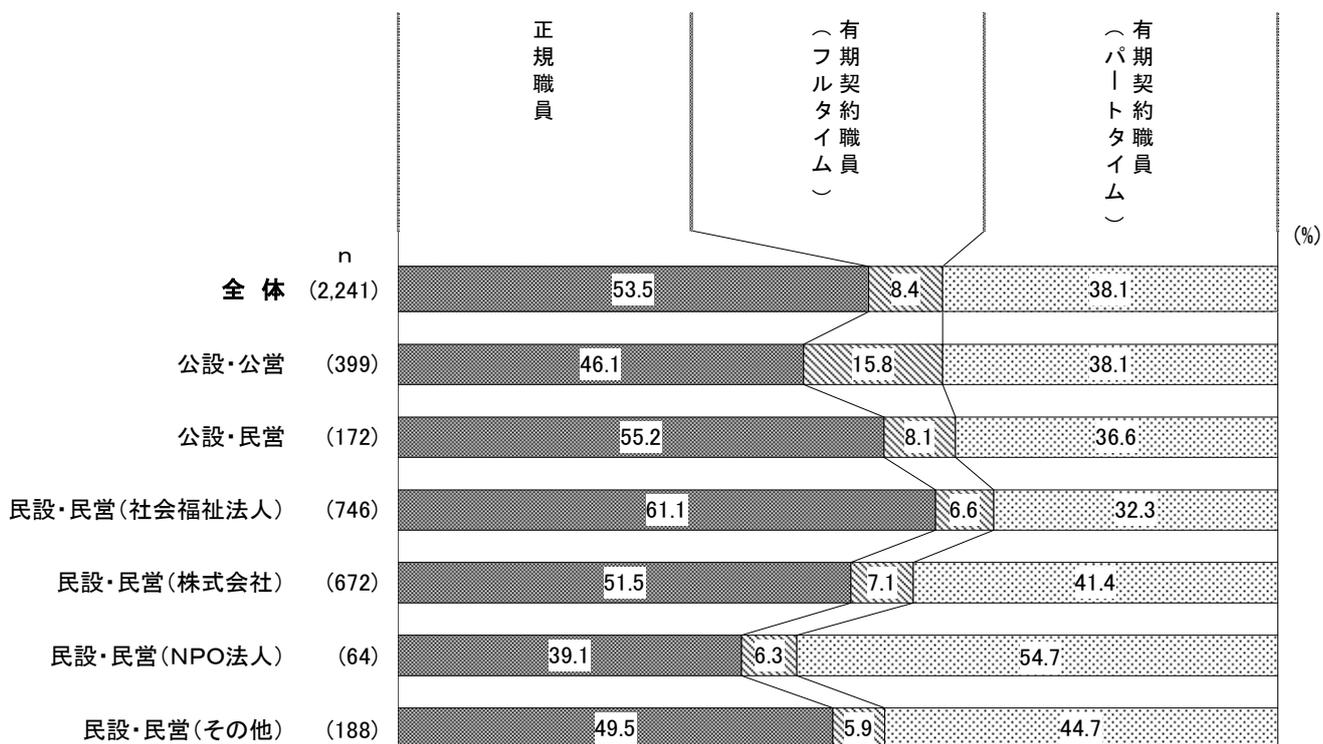
過去に保育士経験がある者の当時の雇用形態は、男女ともに20代で「正規職員」の割合が8割台と高い。

また、運営主体別にみると、「正規職員」の割合が公営よりも民営で高い。

雇用形態（性別、性・年代別）

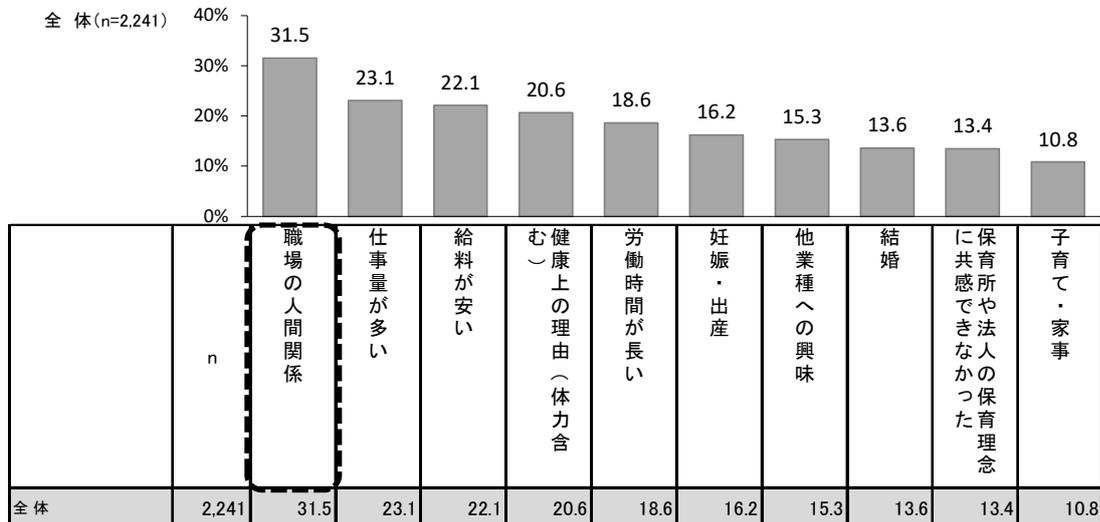


雇用形態（運営主体別）



保育士を辞めた理由は、「職場の人間関係」が最も多い。これに次いで「仕事量が多い」や「給料が安い」が挙げられている。復職する場合の希望条件としては、「給与等（年収）」は理由と合致しているが、「勤務時間（1日）」や「通勤時間（片道）」の方が職場の人間関係や仕事量よりも条件として多くみられる。

保育士を辞めた理由（複数回答／上位10項目）

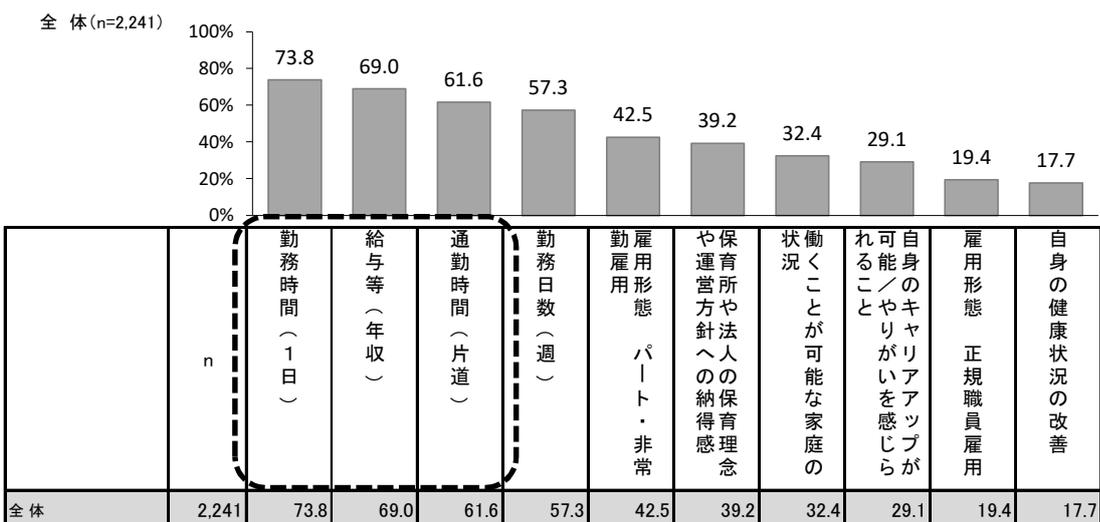


【AQ4-4 雇用形態】

雇用形態	n	職場の人間関係	仕事量が多い	給料が安い	健康上の理由（体力含む）	労働時間が長い	妊娠・出産	他業種への興味	結婚	に共育できなかつた	子育て・家事
正規職員	1,199	37.9	31.9	26.4	22.0	○ 28.7	18.5	14.6	20.4	13.8	11.3
有期契約職員（フルタイム）	189	29.1	21.2	24.9	15.3	13.8	14.8	19.0	9.0	10.1	10.1
有期契約職員（パートタイム）	853	23.2	△ 11.0	15.4	19.8	△ 5.5	13.4	15.5	5.2	13.7	10.3

※その他項目の結果はP114

復職する場合の希望条件（複数回答／上位10項目）



【AQ4-4 雇用形態】

雇用形態	n	勤務時間（1日）」	給与等（年収）」	通勤時間（片道）」	勤務日数（週）」	雇用形態（パート・非常勤）」	保育所や法人への納得感	働くことが可能な家庭の状況	自身のキャリアアップが可能なと感じる	雇用形態（正規職員雇用）」	自身の健康状況の改善
正規職員	1,199	71.1	71.8	59.6	55.4	36.4	37.5	30.6	28.5	25.2	17.0
有期契約職員（フルタイム）	189	73.5	71.4	63.5	58.2	39.2	40.2	33.9	30.7	22.8	14.8
有期契約職員（パートタイム）	853	77.5	64.6	64.0	59.7	51.8	41.3	34.6	29.7	10.4	19.3

※その他項目の結果はP118

第Ⅱ章 調査結果の概要

過去に保育士就業経験がある者の希望する年収額について、過去正規職員で雇用されていた者の希望額は266.5万円である。

しかし、正規職員雇用のみを希望する者の希望年収をみると374.2万円であり、現在正規職員実態額の約1割増しとなっている。

さらに、パート・非常勤雇用のみを希望する者の希望年収額は157.8万円となっており、これは現在有期契約職員（パートタイム）の実態額（122.4万円）の約1.3倍となっている。

復職する場合の希望年収平均額と現在保育士年収平均額

単位（万円）

復職時希望額全体	266.5			現在保育士実態全体	254.5
過去正規職員の希望額	299.3	正規職員雇用のみ希望者の希望額	374.2	現在正規職員実態額	323.0
過去有期契約職員（フルタイム）の希望額	282.8	パート・非常勤雇用のみ希望者の希望額	157.8	現在有期契約職員（フルタイム）の実態額	238.9
過去有期契約職員（パートタイム）の希望額	211.3			現在有期契約職員（パートタイム）の実態額	122.4

（参考：運営主体別・雇用形態別の現在保育士年収平均額）

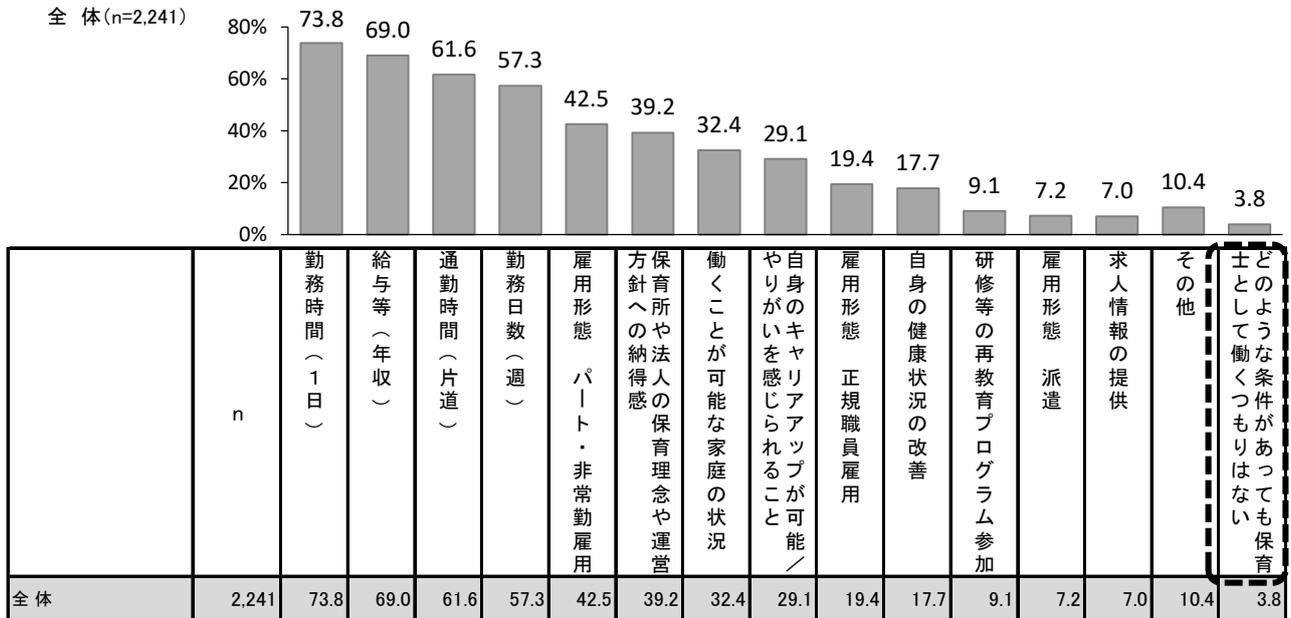
単位（万円）

		公設・公営	公設・民営	民設・民営 (社会福祉法人)	民設・民営 (株式会社)	民設・民営 (NPO法人)	民設・民営 (その他)
全体平均額		279.5	265.3	264.7	234.9	198.5	233.9
雇用 形態 別 平均 額	正規職員	351.8	336.3	324.5	301.7	306.7	323.3
	有期契約職員 (フルタイム)	251.0	221.3	232.3	239.7	216.6	242.9
	有期契約職員 (パートタイム)	142.8	119.9	128.2	116.2	94.7	104.3

保育士として復職する場合の希望条件としては、「どのような条件があっても保育士として働くつもりはない」と回答した者は3.8%であり、過去に保育士就業経験がある者の多くは、希望条件が合えば再び保育士として就業する可能性があると考えられる。

また、保育士復職時まで習得を希望する知識・技術については、「発達心理学」、「特別な支援を必要とする子どもへの接し方」の割合が高くなっている。

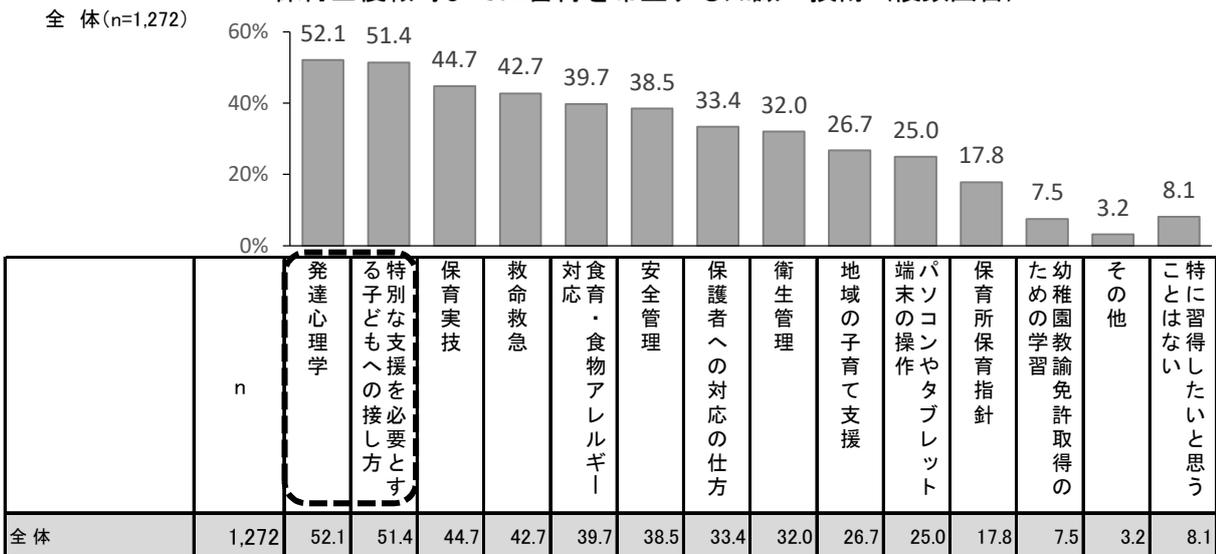
復職する場合の希望条件（複数回答）



【AQ4-4 雇用形態】

雇用形態	n	勤務時間（1日）	給与等（年収）	通勤時間（片道）	勤務日数（週）	雇用形態	保育所や法人の保育理念や運営方針への納得感	働くことが可能な家庭の状況	やりがいを感じられること	自身のキャリアアップが可能	雇用形態	自身の健康状況の改善	研修等の再教育プログラム参加	雇用形態	求人情報の提供	その他	どのような条件があっても保育士として働くつもりはない
正規職員	1,199	71.1	71.8	59.6	55.4	36.4	37.5	30.6	28.5	25.2	17.0	8.8	5.3	6.1	11.5	4.7	
有期契約職員（フルタイム）	189	73.5	71.4	63.5	58.2	39.2	40.2	33.9	30.7	22.8	14.8	7.9	10.6	7.4	10.1	2.6	
有期契約職員（パートタイム）	853	77.5	64.6	64.0	59.7	51.8	41.3	34.6	29.7	10.4	19.3	9.8	9.1	8.2	8.9	2.8	

保育士復職時まで習得を希望する知識・技術（複数回答）



【AQ4-4 雇用形態】

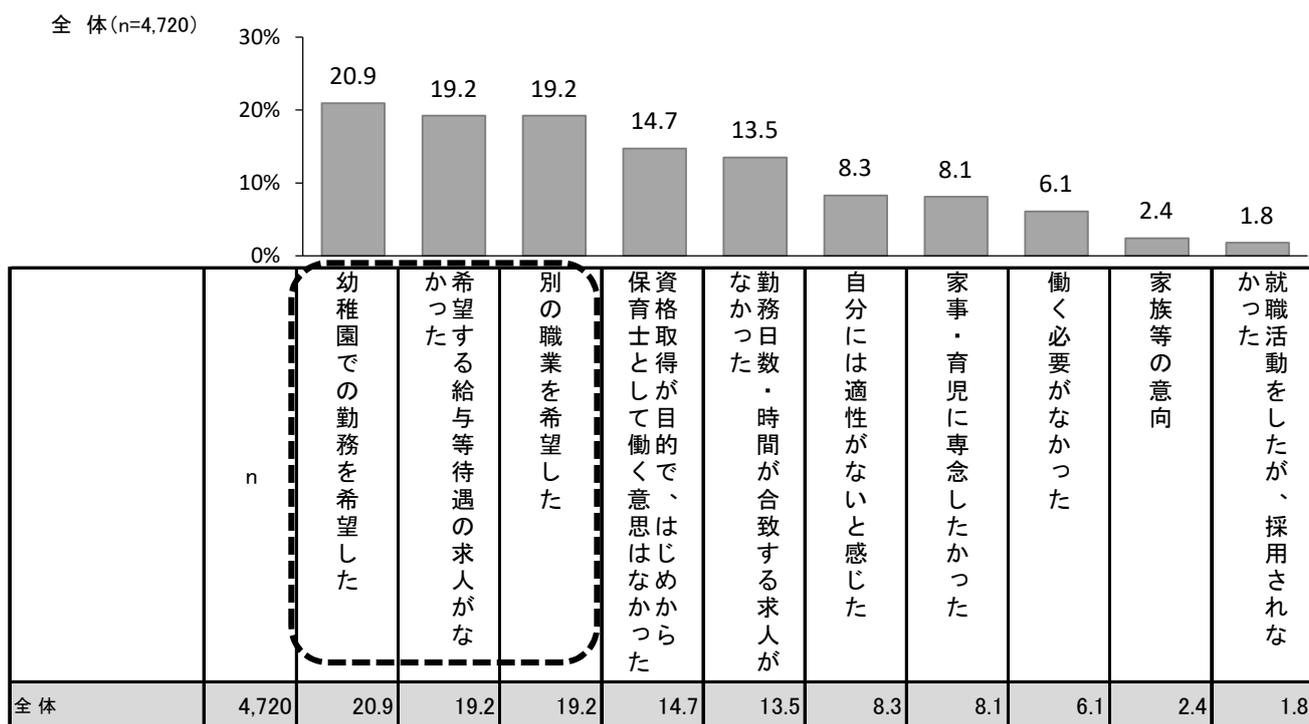
雇用形態	n	発達心理学	特別な支援を必要とする子どもへの接し方	保育実技	救命救急	対応 食育・食物アレルギー	安全管理	保護者への対応の仕方	衛生管理	地域の子育て支援	端末の操作 パソコンやタブレット	保育所保育指針	幼稚園教諭免許取得のための学習	その他	特に習得したいと思うことはない
正規職員	681	51.8	50.1	45.5	41.1	39.5	38.2	35.1	30.0	26.3	24.8	19.2	6.6	3.7	9.1
有期契約職員（フルタイム）	97	58.8	52.6	40.2	42.3	48.5	36.1	34.0	38.1	27.8	29.9	21.6	8.2	4.1	9.3
有期契約職員（パートタイム）	494	51.2	53.0	44.5	44.9	38.3	39.5	31.0	33.6	26.9	24.3	15.2	8.7	2.4	6.5

4. 保育士としての就業経験がない者の実態

保育士就業経験のない有資格者は、全回答者18,239人のうち25.9%にあたる4,720人となっている。

保育士就業経験のない有資格者が保育士として未就業の理由は、「幼稚園での勤務を希望した」が2割で最も高く、これに「希望する給与等待遇の求人がなかった」、「別の職業を希望した」が同率で続いている。

保育士として未就業の理由（複数回答／上位10項目）



【Q1-3&4 配偶者と子供の有無】

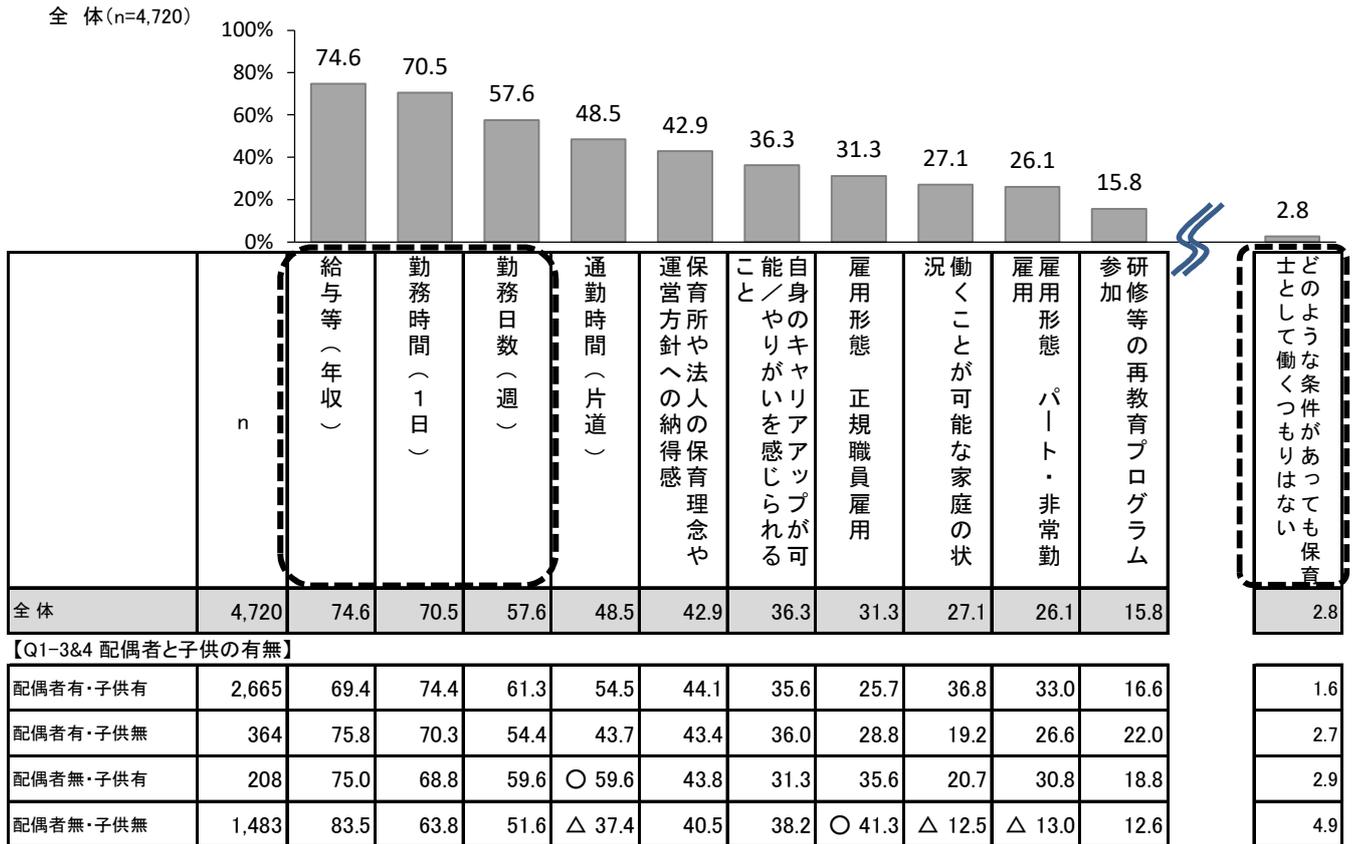
配偶者・子供の有無	n	幼稚園での勤務を希望した (%)	希望する給与等待遇の求人がなかった (%)	別の職業を希望した (%)	資格取得が目的で、はじめから保育士として働く意思はなかった (%)	勤務日数・時間が合致する求人がなかった (%)	自分には適性がないと感じた (%)	家事・育児に専念したかった (%)	働く必要がなかった (%)	家族等の意向 (%)	就職活動をしたが、採用されなかった (%)
配偶者有・子供有	2,665	14.6	19.4	16.0	14.3	17.6	4.2	13.7	7.1	3.6	1.5
配偶者有・子供無	364	20.6	20.6	20.6	17.0	14.6	7.7	2.2	7.1	1.6	3.0
配偶者無・子供有	208	12.5	24.5	16.8	10.1	13.5	3.8	3.8	7.2	1.0	3.4
配偶者無・子供無	1,483	○ 33.5	17.8	24.8	15.7	5.7	16.7	-	3.8	0.6	1.7

※その他項目の結果はP131

保育士経験のない有資格者が保育士として就業する場合の希望条件は、「どのような条件があっても保育士として働くつもりはない」と回答した者は2.8%であり、多くの保育士就業未経験者が、希望条件が合えば保育士として就業する可能性があると考えられる。具体的な条件としては、「給与等（年収）」及び「勤務時間（1日）」、「勤務日数（週）」の割合が高く、配偶者有・子供有では週5日より週3～4日を希望する者の割合が高い。

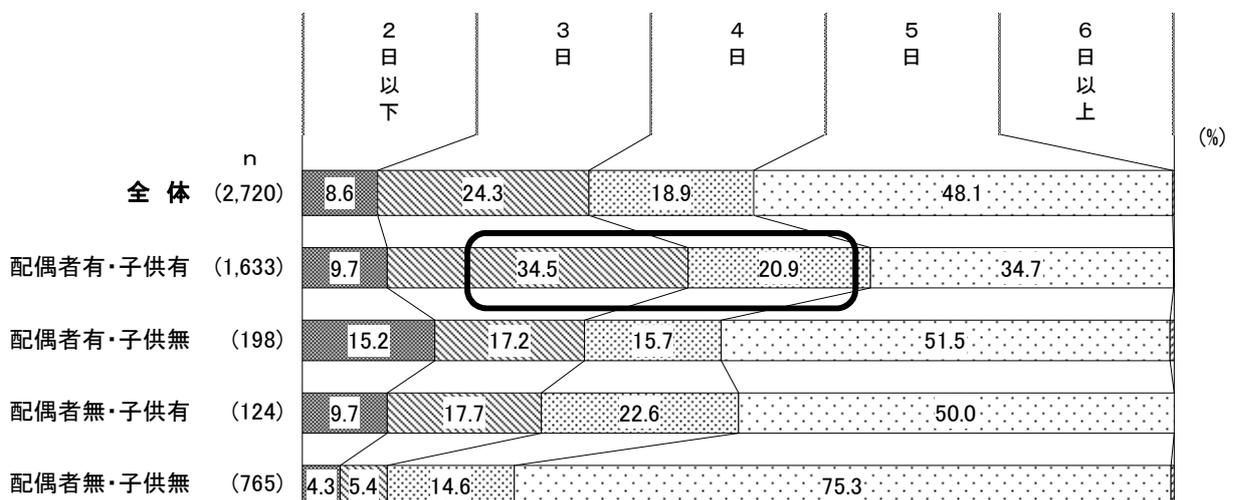
保育士として就業する場合の希望条件

（複数回答／上位10項目＋どのような条件があっても保育士として働くつもりはない）



※その他項目の結果はP132

希望する週あたり勤務日数



第Ⅱ章 調査結果の概要

なお、年収は過去に保育士経験がある者の復職条件よりも、未経験者の希望（イメージ）する額の方が高く、正規職員のみを希望する者の希望年収は389.4万円、パート・非常勤のみを希望する者の希望年収は225.3万円となっている。

未経験者の就業時の希望年収平均額と過去保育士の復職時希望年収平均額

希望する雇用形態別

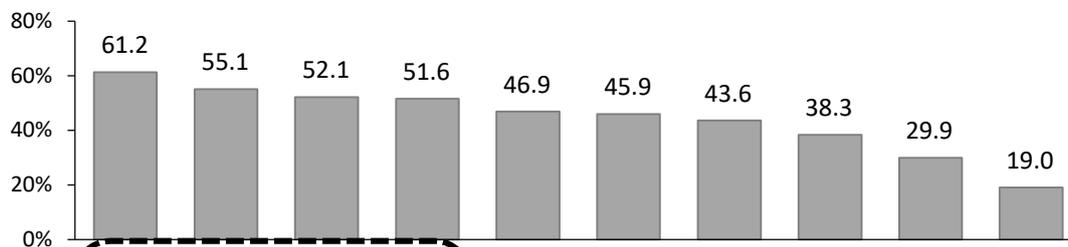
(単位：万円)

保育士経験無の就業時希望額	339.2	過去保育士経験者の復職時希望額	266.5
正規職員雇用のみ希望者の希望額	389.4	正規職員雇用のみ希望者の希望額	348.6
パート・非常勤雇用のみ希望者の希望額	225.3	パート・非常勤雇用のみ希望者の希望額	178.9

また、保育士就業時まで習得を希望する知識・技術については、「保育実技」、「特別な支援を必要とする子どもへの接し方」、「救命救急」、「発達心理学」の順である。

保育士就業時まで習得を希望する知識・技術（複数回答／上位10項目）

全体(n=2,901)



	n	保育実技	特別な支援を必要とする子どもへの接し方	救命救急	発達心理学	安全管理	応食育・食物アレルギー対応	保護者への対応の仕方	衛生管理	地域の子育て支援	保育所保育指針
全体	2,901	61.2	55.1	52.1	51.6	46.9	45.9	43.6	38.3	29.9	19.0

【Q1-3&4 配偶者と子供の有無】

配偶者有・子供有	1,783	57.9	52.9	53.4	51.7	47.4	41.9	40.9	38.2	30.5	17.4
配偶者有・子供無	206	68.0	59.7	50.0	50.5	50.0	52.4	42.2	43.7	30.6	21.4
配偶者無・子供有	140	59.3	55.0	54.3	57.1	38.6	49.3	35.0	34.3	32.1	17.1
配偶者無・子供無	772	67.2	58.9	49.4	50.8	46.2	52.8	51.8	38.0	28.0	22.3

※その他項目の結果はP137